



2025年3月期決算説明会

代表取締役 社長執行役員 森 拓也

2025年5月27日

目次

1. 2025年3月期 決算概要	P.2
2. 2026年3月期 業績予想	P.12
Appendix ご参考	P.16

1.2025年3月期 決算概要

2025年3月期 トピックス

建設投資全体としては底堅く推移、名目値ベースで前年度比増、実質値ベースで同水準

- 2024年度建設投資額は、前年度比4.0%増の73兆9,500億円と予測
– 政府分野投資は、前年度比4.6%増の23兆6,600億円の予測
– 民間建設投資額のうち民間住宅投資額は、前年度比1.6%増の16兆9,600億円、非住宅投資額は、前年度比3.6%増の17兆7,100億円（うち民間土木投資7兆1,500億円）と予測
- プレストレスト・コンクリート建設業協会（PC建協）の2024年度会員受注高は3,433億円（前年度比16.4%減）となった
– 新設部門は2,315億円（前年度比8.3%減）、補修・補強部門は1,118億円（前年度比29.3%減）となった

出典：「建設経済モデルによる建設投資の見通し」
（一財）建設経済研究所 2025年4月発刊

売上高、各利益項目とも大幅に改善し、過去最高益

- 売上高は、土木、建築事業とも、前期からの繰越高も多く、工事の順調な進捗や新規顧客からの受注等により、前期より増収
– 全体で前年度比4.9%の増収：土木事業0.4% 建築事業9.9%
- 売上総利益は、土木事業は設計変更獲得、建築事業は増収影響、原価改善により前期より大幅増益
– 前年度比22.6%増益 利益率は前年度14.5%から17.0%、2.5ポイント上昇
- 各利益項目は、前年度比で大きく改善し、全ての利益項目で過去最高益となる
– 前年度比：営業利益57.3%、経常利益58.2%、当期純利益62.6%

業績サマリー

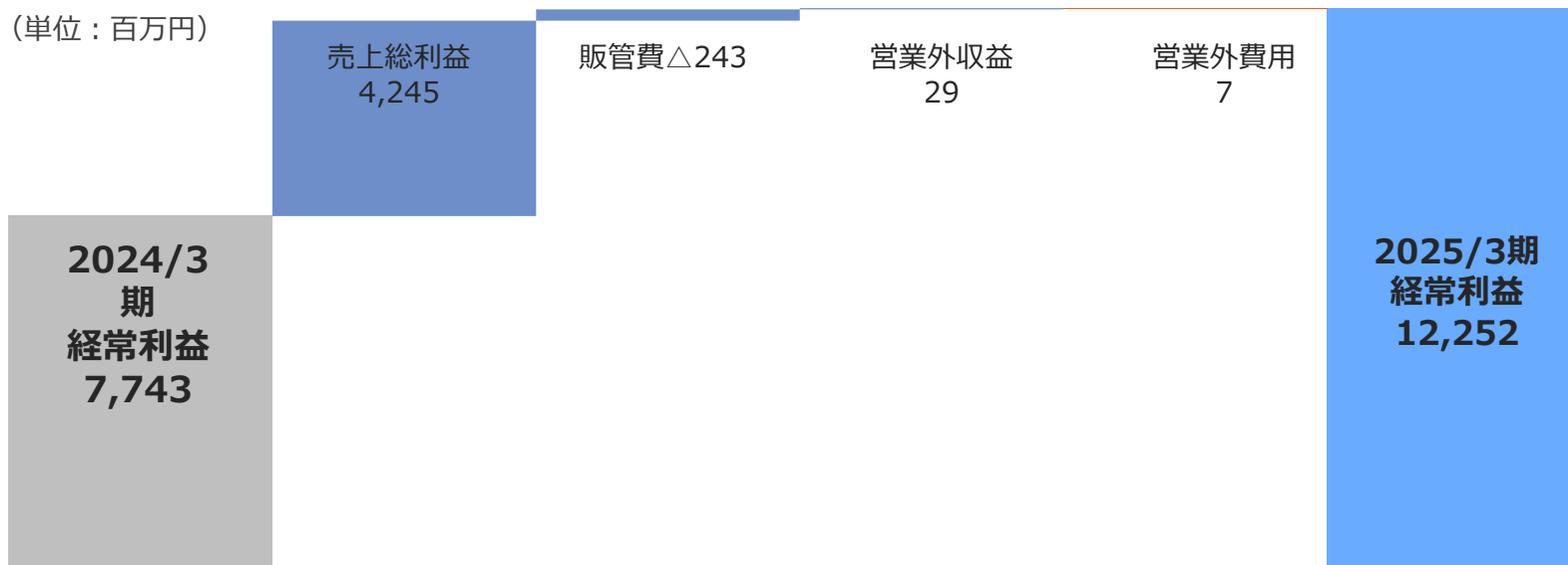
連結業績サマリー

(単位：百万円、%)	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		コメント
	実績	前年度比	実績	前年度比	実績	前年度比	
売上高	109,327	△0.3%	129,294	18.3%	135,627	4.9%	主に建築事業での増収影響
売上総利益	14.2% 15,527	△1.5%	14.5% 18,787	21.0%	17.0% 23,032	22.6%	増収並びに設計変更獲得
営業利益	5.2% 5,715	△13.6%	6.1% 7,827	37.0%	9.1% 12,315	57.3%	売上総利益増加、販管費減少
経常利益	5.1% 5,629	△15.3%	6.0% 7,743	37.6%	9.0% 12,252	58.2%	
親会社株主に帰属する当期純利益	3.5% 3,790	△16.5%	3.9% 5,054	33.4%	6.1% 8,217	62.6%	
1株当たり 配当金	(中間) (年間) — 33.0		17.0 44.0		22.0 72.0(予定)		



利益増減分析（前年度同期比）

(単位：百万円)



2024年3月期 経常利益	7,743	経常利益率 6.0%
売上総利益	4,245	増収、設計変更獲得、原価改善
販管費	△243	TOB関連、本社他移転等の費用減
営業外収益	29	受取配当金増、海外関連会社利益増
営業外費用	7	資金調達費用増
2025年3月期 経常利益	12,252	経常利益率 9.0%

セグメント別業績

セグメント別 受注高・売上高・売上総利益

(単位：百万円、%)	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		コメント				
	実績	前年度比	実績	前年度比	実績	前年度比					
受注高	土木事業	95,321	22.5%	82,234	△13.7%	78,893	△4.1%	関係会社受注減少			
	建築事業	52,757	60.6%	48,233	△8.6%	59,283	22.9%	新規顧客からの大型案件受注増加			
	製造事業	1,901	38.3%	1,698	△10.7%	3,182	87.3%	受注物件増加			
	その他兼業事業	640	15.6%	730	14.0%	756	3.6%				
	合計	150,621	33.8%	132,896	△11.8%	142,115	6.9%				
売上高	土木事業	70,247	4.0%	78,451	11.7%	78,737	0.4%				
	建築事業	36,536	△9.0%	48,414	32.5%	53,203	9.9%	期首手持工事も多く、工事進捗も順調に進み増収			
	製造事業	1,901	38.3%	1,698	△10.7%	2,929	72.4%	売上物件増による増収			
	その他兼業事業	641	15.7%	730	13.8%	756	3.6%				
	合計	109,327	△0.3%	129,294	18.3%	135,627	4.9%				
売上総利益	土木事業	17.6%	12,512	5.5%	17.1%	13,445	7.5%	21.8%	17,136	27.4%	原価改善、設計変更獲得
	建築事業	9.1%	2,723	△25.1%	10.1%	4,872	78.9%	10.0%	5,321	9.2%	増収影響、原価改善
	製造事業	5.4%	23	△68.5%	8.4%	142	511.6%	7.3%	213	50.2%	外部からの売上高増加
	その他兼業事業	36.1%	268	33.9%	44.8%	326	21.9%	47.8%	361	10.6%	
	合計	14.4%	15,527	△1.5%	14.5%	18,787	21.0%	17.0%	23,032	22.6%	

土木事業

業界環境

- 主力事業であるNEXCOの大規模更新・修繕事業は、減少傾向が想定されるものの、今後10年程度は継続する見通し
- 人手不足や時間外労働の上限規制への対応として、現場業務の外注化やICT等の活用による効率化を推進

業績推移



- 受注高は前期比減となったが、大規模更新継続契約案件及び新名神新設橋梁工事の受注等により、売上高と同程度を確保
- 豊富な手持工事の順調な進捗や大規模更新・修繕事業の設計変更獲得等により、売上高、売上総利益ともに前期比増加

主な大型受注案件

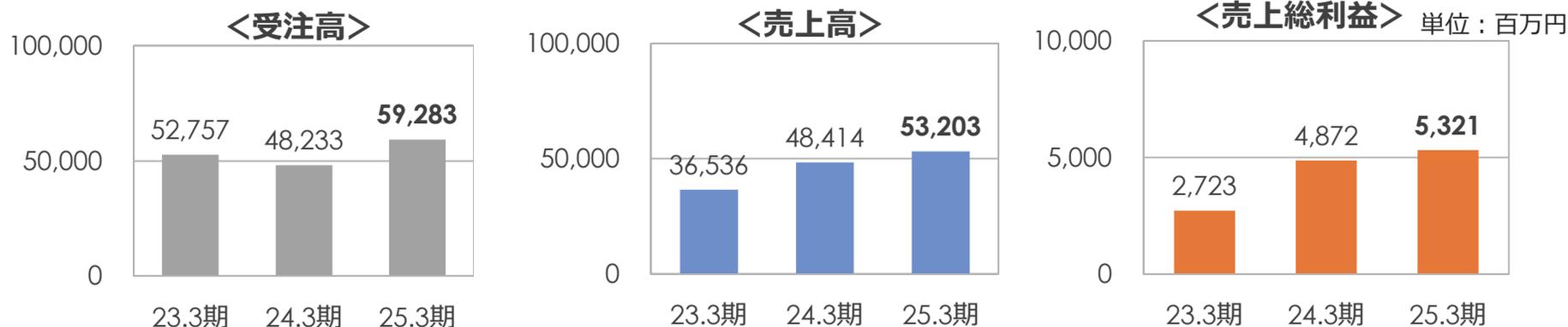
工事名	工事概要
新名神高速道路 信楽川橋その2	PRC5径間連続波形鋼板ウェブラーメン箱桁橋 上り線 L=608.6m 下り線L=664.6m
米子自動車道 山生高架橋床版取替工事	床版取替:約4.6千㎡
北海道新幹線、都橋りょう他	PC下路桁橋 L=40m L=60m、PC箱桁橋 L=50m×2連

建築事業

業界環境

- 民間企業の設備投資は堅調に推移し、増加傾向が続く
- 労務費の上昇、建設資材価格も高止まりしており、今後も建築工事コストの高騰が続く見込み
- 技能労働者の高齢化、深刻な人手不足や時間外労働の上限規制の適用によりプレキャストの活用や建設DX等による生産性向上が課題

業績推移



- 受注環境は改善傾向にあり、新規顧客からの大型工事受注獲得に成功
- 前年度からの繰越案件も多く、工事の進捗が順調に推移し、増収・増益

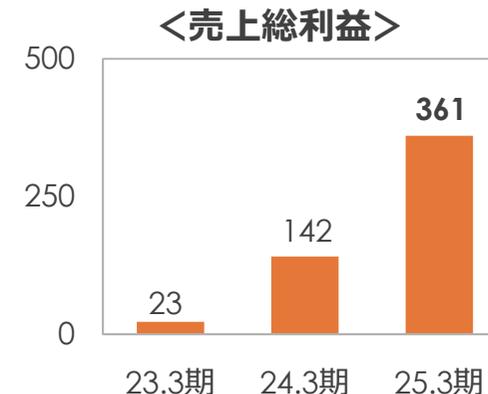
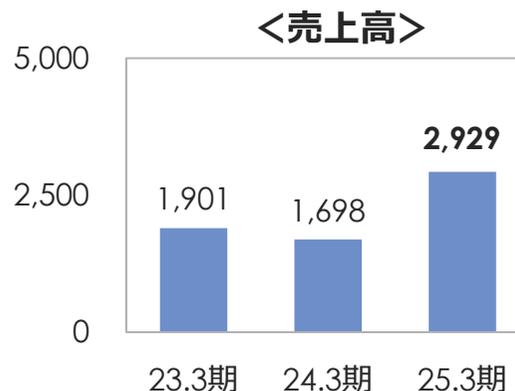
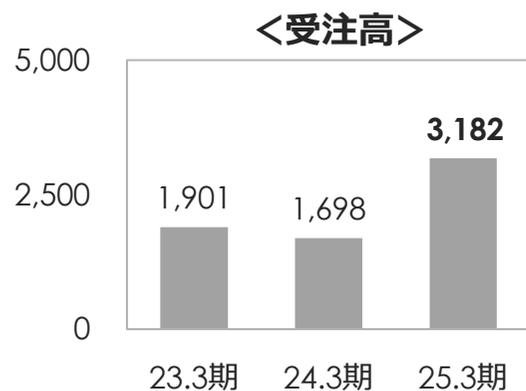
主な大型受注案件

工事名	工事概要	建築面積	延床面積
某スポーツ選手養成所新築工事	トレーニング・宿舍複合施設 S造及びRC造、一部SRC造 3階建	5,700㎡	13,000㎡
某畜産施設新築工事1期・2期	畜産施設 S造・木造 平屋建 (計38施設)	59,000㎡	58,000㎡
某食品工場新築工事	食品工場 RC造 A棟8階建・B棟9階建	1,044㎡	5,518㎡

製造事業及びその他兼業事業

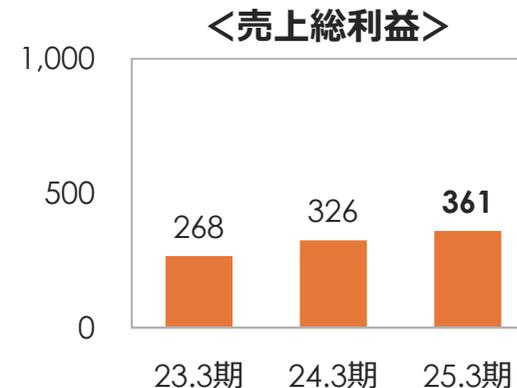
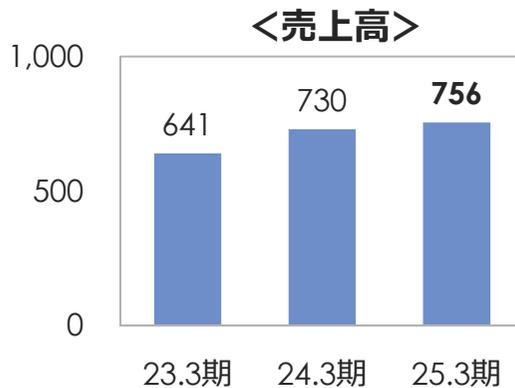
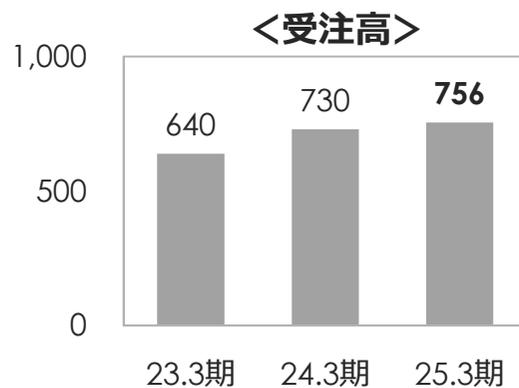
製造事業 - 業績推移

単位：百万円



その他兼業事業 - 業績推移

単位：百万円



貸借対照表

連結貸借対照表の主な項目

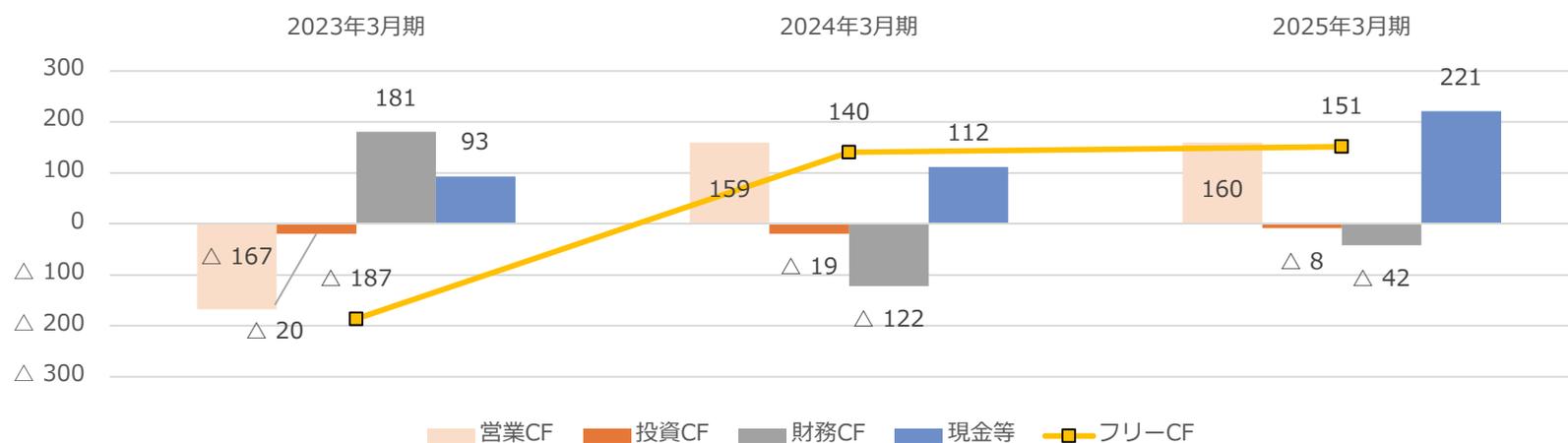
(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期		コメント
	①実績	②実績	③実績	増減 (③-②)	
資産合計	116,082	122,118	130,836	8,718	
流動資産	91,643	95,503	104,616	9,112	
現金預金	9,347	11,163	22,100	10,937	売掛債権回収、新規案件の入金等による増加
受取手形・電子記録債権・完成工事未収入金・契約資産	75,461	77,269	75,069	△2,199	売掛債権回収等による減少
未成工事支出金	2,500	2,455	3,425	969	
その他の資産	4,334	4,615	4,021	△594	
固定資産	24,438	26,614	26,220	△394	
有形固定資産	16,294	16,614	16,718	75	
無形固定資産	99	188	59	△129	
投資その他の資産	8,044	9,783	9,442	△340	
負債合計	68,210	69,947	72,955	3,007	
流動負債	58,118	54,293	61,742	7,448	仕入債務等5,192百万円減少。新規工事案件の入金等による契約負債・預り金9,497百万円
短期借入金	26,493	11,178	13,860	2,681	
固定負債	10,091	15,653	11,213	△4,440	長期借入金4,000百万円減少
長期借入金	3,400	9,060	4,700	△4,360	
純資産合計	47,872	52,170	57,880	5,710	
株主資本	45,096	47,974	53,890	5,915	純利益8,217百万円計上、配当金の支払い2,322百万円
その他包括利益累計額	2,775	4,195	3,989	△205	
負債純資産合計	116,082	122,118	130,836	8,718	

キャッシュ・フロー

連結キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

キャッシュフロー推移



	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
営業CF	△167	159	160
投資CF	△20	△19	△ 8
フリーCF	△187	140	151
財務CF	181	△122	△ 42
現金等	93	112	221

2. 2026年3月期 業績予想

各セグメントの外部環境と今後の見通し

土木事業

- 2025年度の公共事業関係費は、ほぼ前年並み。また、2026年度からの「国土強靱化実施中期計画」の素案では「計画規模：20兆円強」との方針
- 主力事業であるNEXCOの大規模更新・修繕事業は、減少傾向が想定されるものの、今後10年程度は継続する見通し
- 高速道路の暫定2車線区間の4車線化（2019年度、優先整備区間として880km選定）は、現在、約290kmが事業中であり、今後、本事業の推進が期待される
- 国・地方自治体においても、メンテナンス工事が増加する見通し。ただし、体制や予算面で課題を抱える地方自治体では、広域・複数・多分野のインフラを総合的にマネジメントする「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」が推進される見通し



（北陸自動車道）金沢高架橋東床版取替工事
本工事では、高圧線の交差箇所があるため、施工高さを抑えた「低空頭タイプ床版架設機」を採用

建築事業

- 民間設備投資は、住宅投資は減少するも、非住宅建設投資とリニューアル投資の伸びが今後の建築市場をけん引
- 防衛力整備強化の下、大幅に予算が増加された防衛関連施設の発注量が大きく増加する見込み
- 技能労働者不足や時間外労働上限規制を背景に、省人化、高品質、工期短縮、環境配慮といった優位性を持ち、生産性向上に大きく寄与するPC、RCのPCa建築への機運が高まる
- 「スクラップアンドビルド」といったフロー型から「ストック化」への流れによりリニューアル工事の需要が高まる他、カーボンニュートラル実現に向けた省エネ・創エネ等のZEB/ZEHの取り組みが加速していく



現在施工中の「福岡中央病院新築工事」では当社が得意とするPCaPC工法を採用



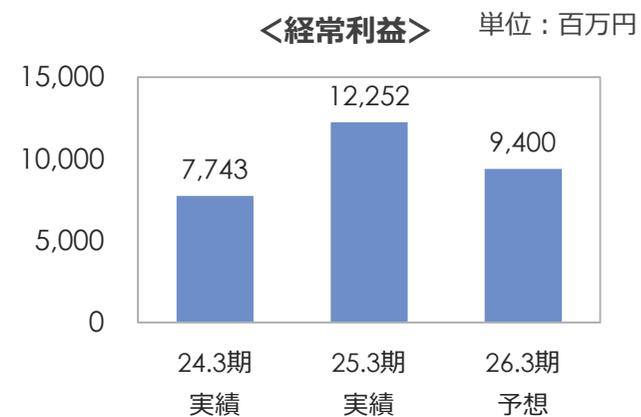
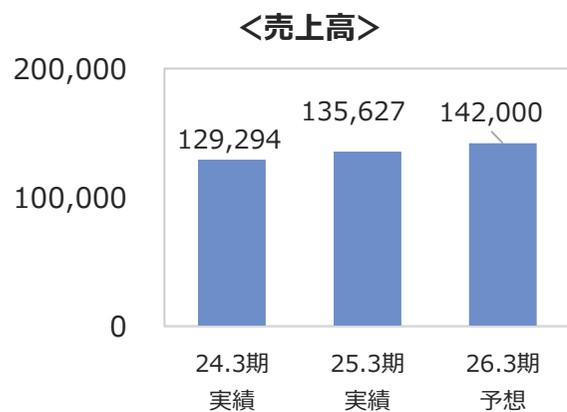
2024年に竣工した当社設計・施工の「青森三菱電機機器販売(株)青森支店建替工事」では「Nearly ZEB」を実施

業績予想

連結業績予想

(単位：百万円、%)

	2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期				
	実績	前年度比	実績	前年度比	予想	前年度比			
売上高	129,294	18.3%	135,627	4.9%	142,000	4.7%			
売上総利益	14.5%	18,787	21.0%	17.0%	23,032	22.6%	14.8%	21,000	△8.8%
営業利益	6.1%	7,827	37.0%	9.1%	12,315	57.3%	6.7%	9,500	△22.9%
経常利益	6.0%	7,743	37.6%	9.0%	12,252	58.2%	6.6%	9,400	△23.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3.9%	5,054	33.4%	6.1%	8,217	62.6%	4.4%	6,200	△24.5%
1株当たり 配当金	(中間)	17.0		22.0			40.0	(予定)	
	(年間)	44.0		72.0	(予定)		80.0	(予定)	



セグメント別業績予想

セグメント別 受注高・売上高・売上総利益

		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		コメント			
		実績	前年度比	実績	前年度比	予想	前年度比				
受注高	土木事業	70,670	△16.9%	69,976	△1.0%	67,000	△4.3%	土木は施工中工事の継続受注と新規受注により前年並み予想 建築は前期は新規顧客からの大型受注があった反動もあり減少予想			
	建築事業	48,550	2.6%	58,986	21.5%	50,000	△15.2%				
	関係会社	13,289	△25.9%	12,749	△4.1%	12,800	0.4%				
	兼業事業	389	25.9%	403	4.5%	400	△0.9%				
	合計	132,896	△11.8%	142,115	6.9%	130,200	△8.4%				
売上高	土木事業	67,415	10.5%	68,568	1.7%	70,000	2.1%	土木・建築ともに手持工事が潤沢な状況であり、当期受注工事と合わせ増収見込			
	建築事業	48,297	32.7%	52,857	9.4%	60,000	13.5%				
	関係会社	13,194	13.7%	13,796	4.6%	11,600	△15.9%				
	兼業事業	386	25.9%	403	4.5%	400	△0.9%				
	合計	129,294	18.3%	135,627	4.9%	142,000	4.7%				
売上総利益	土木事業	15.5%	10,451	10.9%	19.2%	13,145	25.8%	16.4%	11,500	△12.5%	土木・建築ともに増収見込だが、前期好採算の反動もあり、全体としては減益見込
	建築事業	9.9%	4,793	79.6%	9.7%	5,116	6.7%	9.5%	5,700	11.4%	
	関係会社	26.0%	3,430	2.9%	33.6%	4,649	35.6%	31.6%	3,670	△21.1%	
	兼業事業	29.2%	112	12.5%	29.7%	120	6.3%	32.5%	130	8.3%	
	合計	14.5%	18,787	21.0%	17.0%	23,032	22.6%	14.8%	21,000	△8.8%	

※2026年3月期よりセグメントの集計区分を変更しました。合わせて2024年3月期及び2025年3月期の記載も変更しております。

Appendix. ご参考

会社概要・沿革

会社概要	
名称	ピーエス・コンストラクション株式会社
本社	〒105-7365 東京都港区東新橋一丁目9番1号 東京汐留ビルディング18階 Tel (03)-6385-9111
設立	1952年3月1日
資本金	42億1,850万円
上場	東京証券取引所プライム
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.プレストレストコンクリート（PC）工事の請負ならびに企画、設計、施工監理 2.土木一式工事、建築一式工事の請負ならびに企画、設計、施工監理 3.土木建築構造物の維持、補修に関する事業 4.プレストレストコンクリート（PC）製品及びプレキャスト・コンクリート製品の製造、販売ならびにそれらの製造用具および附属資材部品の製作、販売 5.プレストレストコンクリート（PC）工事用機械器具その他建設用機械器具の設計、製作、販売および賃貸 6.鉱物の採掘及びその請負 7.不動産の売買、賃貸及びそれらの仲介ならびに所有管理 8.運送業及び倉庫業 9.損害保険代理業及び生命保険の募集に関する業務ならびに自動車損害賠償保障法に基づく保険代理業 10.前各号に関連ある一切の業務

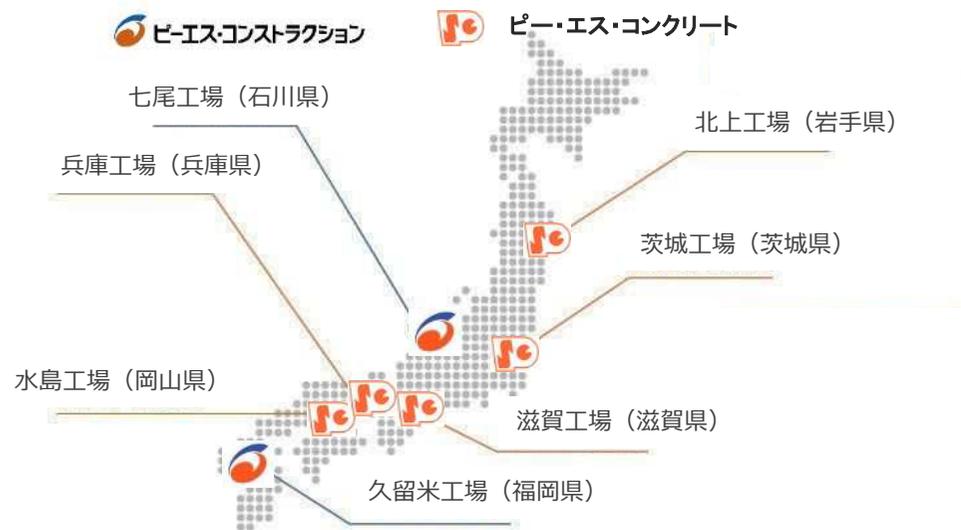
	(株)ピー・エス	三菱建設(株)
1952	東日本重工業（現 三菱重工業(株)）七尾造船所の諸施設及び従業員を引き継ぎピー・エス・コンクリート(株)を設立	
1960		三菱鉱業(株)ほか三菱系列企業10社が発起人となり、新菱建設(株)設立
1969		三菱建設(株)に社名変更
1991	(株)ピー・エスに社名変更	
2002	合併により(株)ピーエス三菱発足	
2004	ベトナムにて VINA-PSMC Precast Concrete Co., Ltd .設立	
2012	インドネシアにてPT. Wijaya Karya Komponen Beton社設立	
2022	東京証券取引所市場第一部からプライム市場へ移行	
2023	大成建設(株)による株式公開買付けにより、同社が親会社へ異動	
2024	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係会社である(株)ピーエスケーが、PC工事向けコンクリート二次製品用鋼製型枠及び架設機材の設計・製作を目的とする関係会社、(株)東葉製作所を子会社化 ・ (株)ピーエス三菱からピーエス・コンストラクション(株)に社名変更 	

グループネットワーク

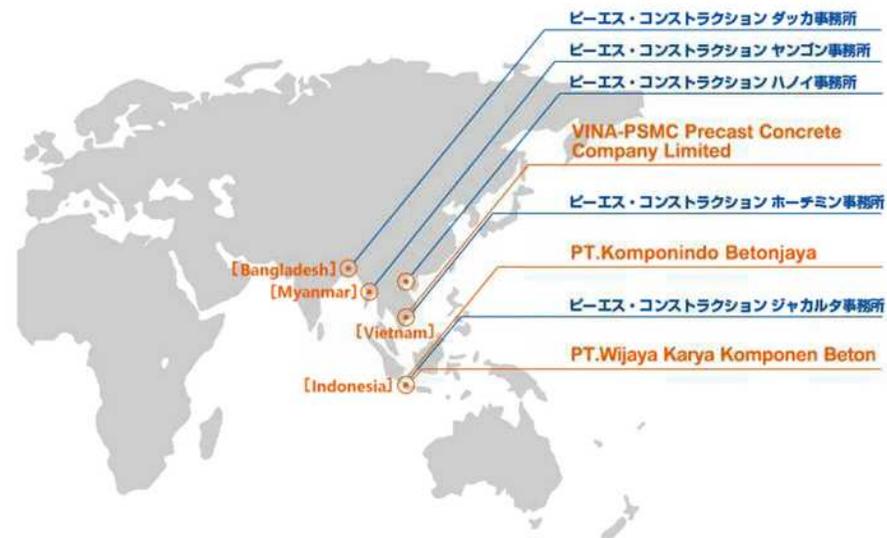
ピーエス・コンストラクショングループ（主要国内5社）

支店 営業所	 ピーエス・コンストラクション 株式会社ピーエスケー ・東京土木支店 ・東京建築支店 ・札幌支店 ・東北支店 ・大阪支店 ・名古屋支店 ・広島支店 ・九州支店 ・22箇所	 株式会社ピーエスケー PC工事における機材の企画・設計・製作・賃貸・販売、資材の製造・販売及びこれらの運用・活用に関するエンジニアリング
	株式会社ニューテック康和  道路・鉄道・港湾等の構造物のメンテナンス、リニューアル	
	ピー・エス・コンクリート株式会社  PC製品の製造販売	
	菱建商事株式会社  建築資材販売、物流、不動産関連など	
	菱建基礎株式会社  土木・建築構造物の基礎工事など地下分野の総合専門工事	

国内工場ネットワーク



海外ネットワーク



事業構成

建築建設事業

【強み】

- プレキャスト（PCa）工法により高品質・高強度の部材を安定的に供給が可能
- 独創的なPC建築から一般建築まで優れた企画提案力で幅広い顧客基盤を持つ
- 高度な技術力により様々なニーズに対応した構築物を提供
- PC工事その他一般建築工事の請負
- PC製品の製造販売

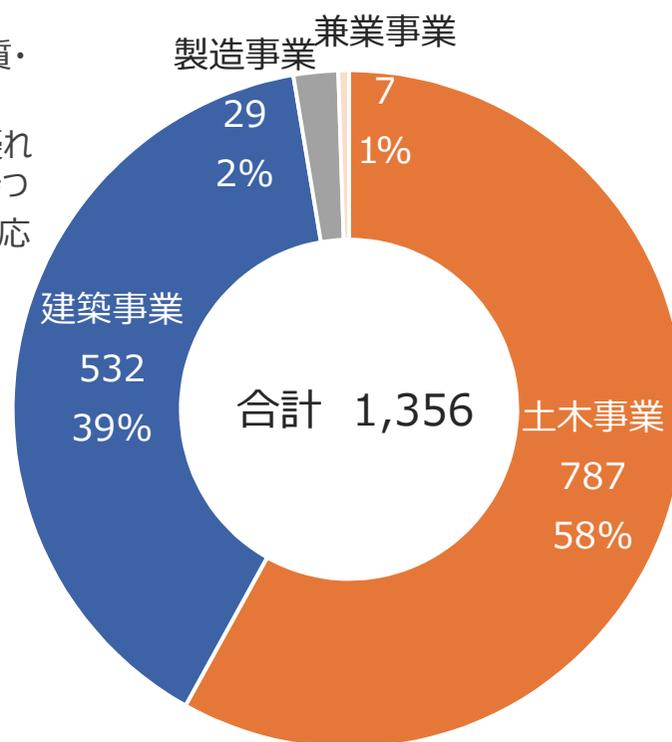


桑名市津波避難施設

製造事業

- コンクリート製品の製造販売

セグメント別売上高



セグメント別売上高・構成比率
(2025.3月期 単位：億円)

土木建設事業

【強み】

- 日本におけるプレストレストコンクリート（PC）の実用化に初めて成功し、PCのパイオニアとして、多くの橋梁施工実績
- PC業界のトップカンパニーとして、多くの技術を開発し、国土基盤の整備に貢献
- 鉄道・空港・港湾・橋梁下部工・上下水道・発電所・防災などPC橋梁のみならず、様々な土木全般の事業を展開



常磐自動車道大久川橋

その他兼業事業

- 不動産の販売・賃貸・仲介
- 損害保険代理店事業

プレストレストコンクリート（PC）技術とプレキャスト（PCa）技術とは

プレストレストコンクリート（PC）とは

PCは「高強度の鋼材によって、あらかじめ（プレ）応力（ストレス）を与えられたコンクリート」のことです

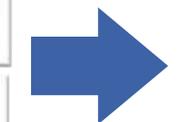
- コンクリートの最大の弱点である“引張には弱い”を克服することができます
- 圧縮する力を与えることで、大きな引っ張る力が作用してもひび割れを制御することができます
- 上記により、梁の高さを抑えながら、その長さを大きく取ること（大スパン化）ができます



プレキャスト（PCa）とは

現地以外の工場などで、あらかじめコンクリート部材を製作することです

- 工場で生産されるため、高品質・高精度で、高耐久を有しております
- 現場で型枠を組みコンクリートを施工する場合より、騒音や粉じんの発生を抑え周辺環境に優しい工法です
- 工場で部材を製作する為、現場作業の省力化・スピード化が図れます



DXに対する取り組み

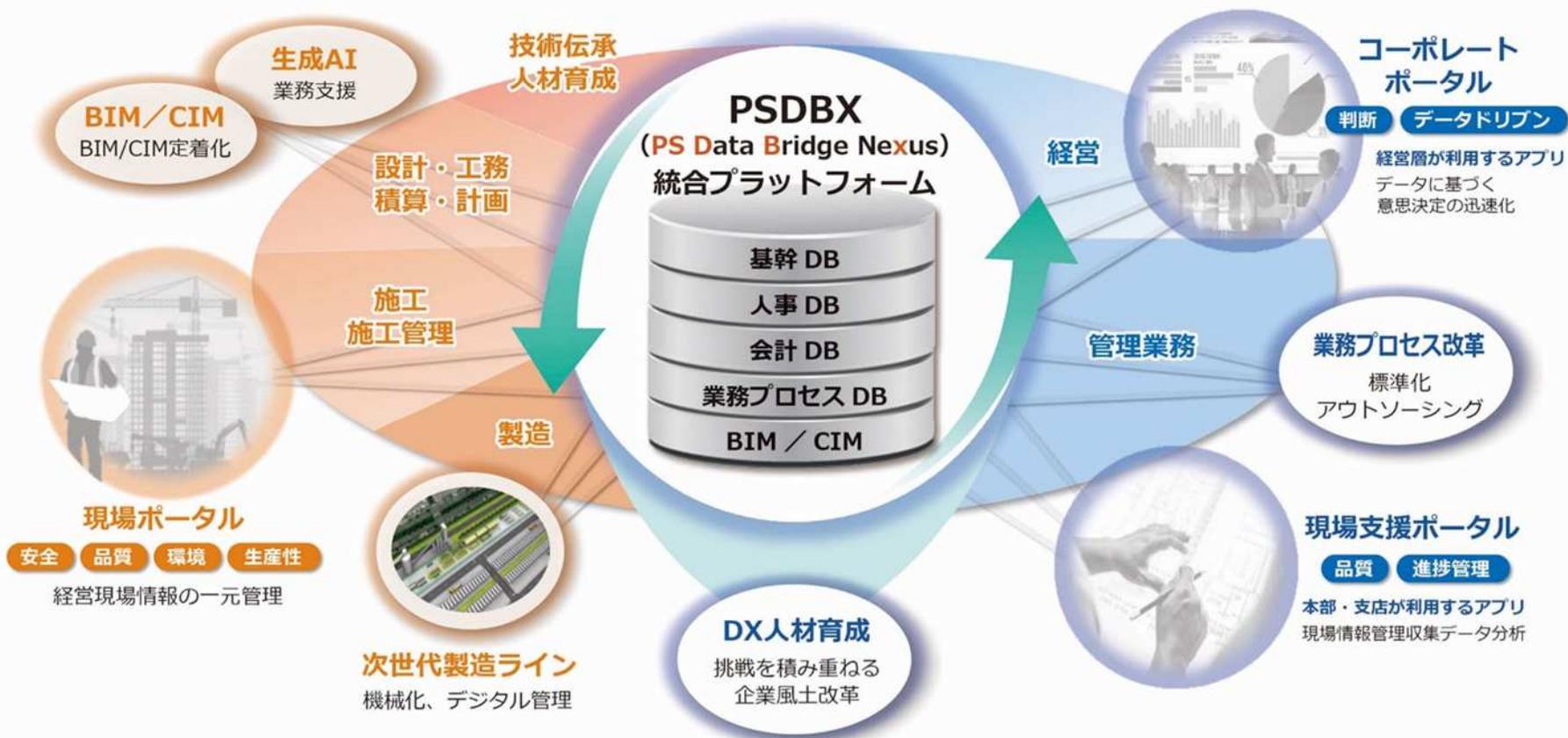
DXビジョン



建設プロセスのデジタルイゼーションと自動化



管理業務の最適化





将来予測に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。

IRに関するお問い合わせ先

ピーエス・コンストラクション株式会社 管理本部 総務部 広報・IRグループ
〒105-7365 東京都港区東新橋一丁目9番1号 東京汐留ビルディング
TEL : 03-6385-8002 FAX : 03-6316-2321 メールアドレス : koho.ir@psc.co.jp

PR動画はこちらから

